

visit in
MIYAKO

J I M A
18.12.6-8



宮古島 東急ホテル&リゾート



宮古空港ではまず「まもる君」の等身大警官人形をみる。
宿泊ホテルの玄関はやっぱりシーサーだった。

ホッとする

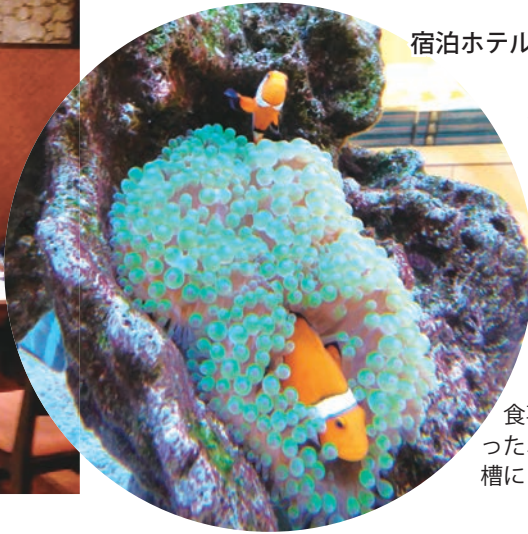


人から逃げようとしないう野鳥が宮古島にいた。
名は「磯ひよどり」だって。弘明寺の庭に来る野鳥も「磯ひよどり」ときいたけど。人への警戒心がまるで違う。

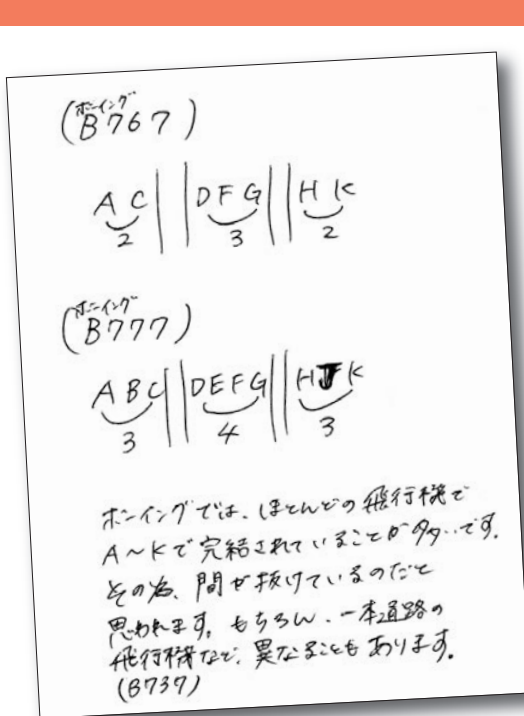




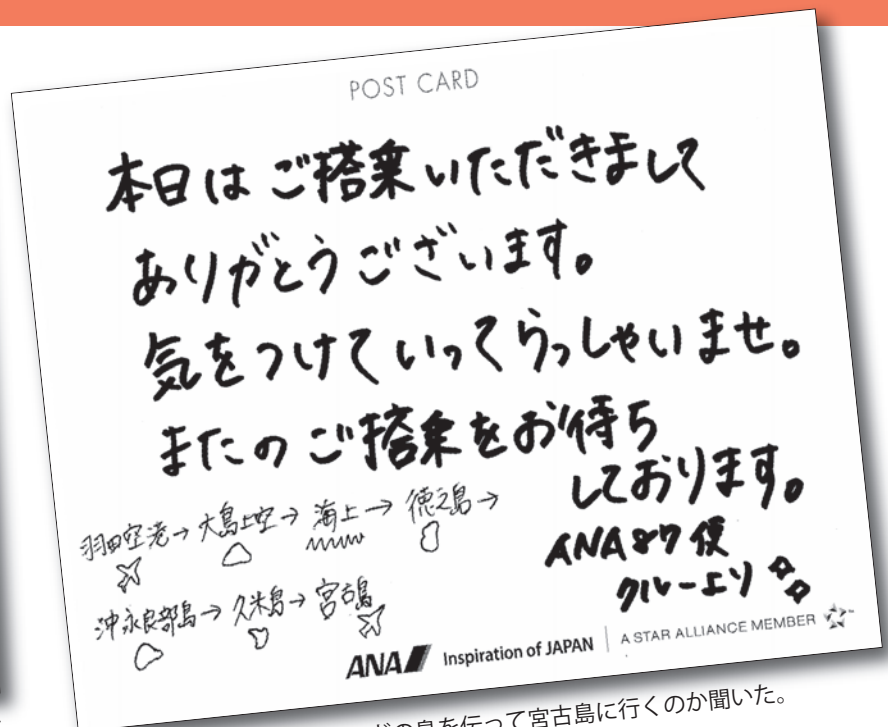
1 日目のディナーに入った三線奏者。
声を掛けてこちらを向いてもらった。



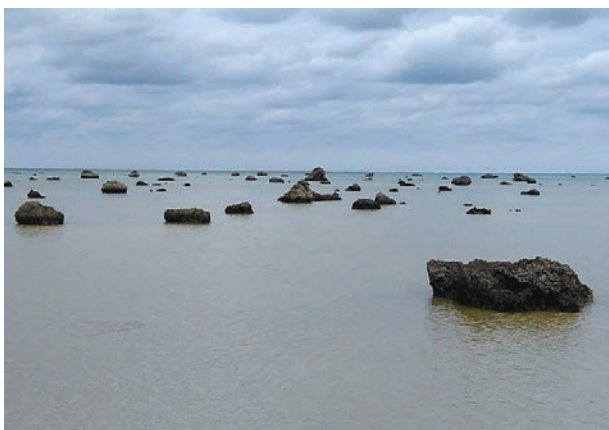
食事後、帰る途中に立ち寄ったホテル地下の土産店の水槽に「ニモ」を見つけた。



CA さんに機内横一列の A、B、C...座席順の付け方を
聞いた。



同じく CA さんに鹿児島からどの島を伝って宮古島に行くのか聞いた。



江戸時代の津波で大岩が打ち上げられたという。佐和田の浜。



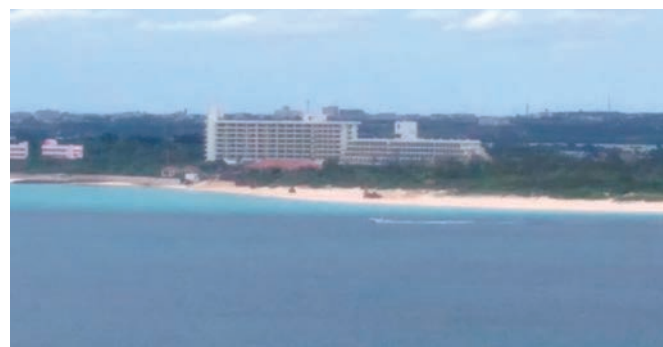
石灰岩の地層が雨水によって浸食されて開いた穴という。海とつながっていて海から入ってきたダイバーが水面にみえた。通り池。



伊良部大橋を渡る・潜る



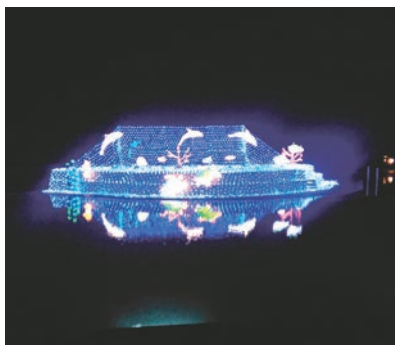
来間大橋。「くりま」とは読めない。



来間島から遠望した宿泊ホテル。ホテル前の与那覇前浜は観光スポットの一つと聞いた。



珊瑚礁が波にくだかれてできたパウダーの砂浜。小麦粉のような触感だった。
手のひらの破片はこれからパウダーになるのだろうか。渡口の浜。



ホテルのプールサイドでは、本土は冬というのにイルミネーションが点灯された。



コッキーと愛車。



コンダクターさんとドライバーさん。

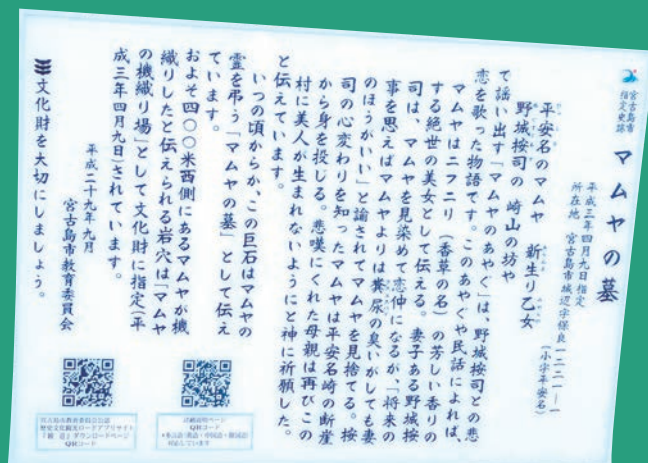


沖縄ナンバーが珍しい。

この日だけで宮古島の海岸線を一周した



砂山ビーチの入口ゲートから入り、フーフーいいながらひと山越えると自然の造形があった。



宮古島では軽自動車が目立った。
たぶん一家の2台目、3台目が軽なんだろう



宮古島空港前の案内図には伊良部大橋が描かれていなかった。橋が開通したのが2015年というので、たぶんそれ以前に描かれたのだろう。



宮古島の家屋は、箱形の建物が多かった。
しかも、背が低いものだった。
台風対策以外には考えられない。



雪塩ミュージアム前の海岸には3基の風力発電風車が稼働していた。
とにかく、宮古島はつねに強風が吹いているように思えた。



空港公園前の広場に描かれた幾何学模様には願いが叶うパワーがあるらしい。



空港の建物にはなにか沖縄テイストを感じました。
おつかれさまでした。



宮古島

18.12.6-8